

ごみを減らそう!!



gomi情報最前線

1999年学園祭でのごみ削減のレポート

学園祭での学生による、ごみ減量・リサイクル活動はもはや定着しつつある。洗える皿の貸出しなどは、各大学のサークルで盛っている血を、お互いに貸し借りして、最大限に利用できるものに工夫している。また、分別リサイクルに関してはできることから始められるところあって、各大学で行われているようだ。排出されるごみの量や組成の調査も行われている。さらに今年度は新しい動きも見られた。

学園祭で排出されるごみの大部分は模擬店が用いる使い捨て容器である。これらの処理を模擬店自身が負担するのは、汚染者負担の原則から考えれば当然のことだが、今までは十分にできていたとは言えない状況だった。使い捨てトレイのリサイクルは形式上行われてきたのだが、どう考えても汚れを落としたとはいえないトレイがたぐさあり、結局焼却するものとして出さざるを得ず、分別した意味がなくなってしまっていたのだ。

しかし、今年度の京大の学園祭では、学園祭が終わり、模擬店が出すごみは全て、環境対策委員のチェックが入り、分別が不十分なもの、模擬店の人の手によって分別してなら出してもらった。例えば燃えるごみの袋の中に入っているトレイでさえ分別してもらうという徹底ぶりであった。それだけではない。そのトレイがまだ十分汚れが落ちてないと環境対策委員が判断した場合には、用意してある洗い場まで全て洗ってもらった。

小商が降る中、トレイを一枚、一枚洗っている模擬店の人の言葉、**「こたなごとな、使い捨てトレイにするんじゃないか?」**

便利さはいったい何なのだろうか。

(エニローク・南 隆昭)

京都市ごみ減量推進会議 事業化委員会の動き

1999年7月京都市ごみ減量推進会議に、事業化委員会が発足した。松本明光氏（京都商店連盟常任理事・古川町商店街振興組合理事長）を委員長に、市民団体・事業者会員を中心として構成される同会は、京都市ごみ減量推進会議が独立運営するための母体であり、レジ袋の透明化への呼びかけ、缶・びん・ペットボトル用透明ごみ袋の推奨、レジ袋の有料化への呼びかけなどを行ってきた。今回は、事業化委員会の面々に一連の動きについて語ってもらった。

出席者：松本明光氏（京都市ごみ減量推進会議事業化委員会委員長・京都商店連盟常任理事）・中島和子氏（京都市ごみ減量推進会議事業化委員会副委員長・京都府生活学校連絡協議会会長）・人見常夫氏（京都市ごみ減量推進会議理事・京都百貨店協会事務局）の各氏と、京都市ごみ減量推進会議事務局の岡山尚義氏（京都市環境局リサイクル推進課担当係長）



左から人見氏、松本氏、中島氏の各氏

レジ袋透明化への呼びかけ

経緯

京都市では、1997年10月より缶・びん・ペットボトルの3種混合で資源収集にあたっている。ところが、基本ルールが守られていないため、回収できないスプレー缶やガラスの破片など異物混入が絶えず、中間処理業務の妨げになっている。袋についても透明袋で出す人は少なく、大多数がレジ袋で出している。中身が全く見えない黒いごみ袋も少なくない。スーパーのレジ袋を透明化すれば、透明な袋で出すことになり、異物混入も減ってくるという考え方が、方ですめたのがレジ袋透明化の呼びかけ。

この呼びかけは、99年7月29日事業化委員会の発足と同時に行われた。

人見「百貨店協会としては、買い物袋を半透明化しているという考え方はあります。しかし、お客様の大半は、買ったものが見えて困る。特に、食料品などは見えたまま歩くのは恥ずかしいという思いを持っておられるようです。まして、電車やバスに乗って持ち帰るとなると抵抗があります。お客様の要望を無視することになりますし、更に見えないため、過剰包装することになります。そもそも目的が違います。もつと市民の意識づけが必要ではないでしょうか。資源ご

みは透明に入れて出すという、ルールの徹底を強制力を持って進めることが、問題解決のポイントに気がつく。中島：元々透明袋は、簡易な紙の面で問題があるという。買った物をレジで、シールを貼って出さずに、中身が見えることに抵抗があるため、百貨店に紙に包んで希望する人も出てくるのでは。せめて乳白色にしておかなと、逆に透明包装にならなかせん

中島：私は、31万円の資産と、アシメーションを調査しましたが、レジ袋が3%、青と黒の袋が15%、透明袋に入っているのは10%。シールに「つがつ」が使われている。透明袋が使えないのか。聞いてみると「透明袋が見つかない、売っていない」と言われます。中にはクリーニングの袋を結んだら、面をふたして透明袋を使っておられるのが実態です。今の段階では、あくまで推進袋であり強制的な指定袋ではないので、果たして消費者がお金を出してまで買求め、この袋に入れるのか。

缶・びん・ペットボトル用 透明ごみ袋の企画・普及

経緯

京都市では資源ごみを、透明袋に入れて出すよう指導している。しかし、現実にはレジ袋や青や黒のごみ袋に入れている。これは透明袋が手に入りくいことが大きな壁となっていると考えられ、透明袋を京都市ごみ減量推進会議として認定し、京都市が推奨するかたちでの取り組みが始められた。まず、透明袋の製造をメーカーに呼びかけ、その袋の取扱を小売店に依頼するというかたちで進められ、現在6社にて製造、めぐるくんの店、スーパー、生協など10店(00年2月末現在)で販売されている。その他、銀行などの景品として市民に配布するルートを開拓しようとしている。問題の多い黒い袋については、警告シールを貼ろうという動きもある。

中島：私は、31万円の資産と、アシメーションを調査しましたが、レジ袋が3%、青と黒の袋が15%、透明袋に入っているのは10%。シールに「つがつ」が使われている。透明袋が使えないのか。聞いてみると「透明袋が見つかない、売っていない」と言われます。中にはクリーニングの袋を結んだら、面をふたして透明袋を使っておられるのが実態です。今の段階では、あくまで推進袋であり強制的な指定袋ではないので、果たして消費者がお金を出してまで買求め、この袋に入れるのか。

また、自動販売機には、簡出を出すときに責任を持って処理してもらう仕組みが必要では。目録機の飲料容器は事業系ごみの資源であり、一般廃棄物とは違う存在なのだから。

岡山：平成9年、大型ごみの有料化を進めるとき、手数料等の取扱いは、簡易化したところ、多数施設があり、今では約2000店が取り扱っています。各市内で1店に、透明袋が世でいる状況になれば、京都市推進しただけです。指定袋によつては、価格面の統一を図るなど、かなり行政が関与しなければならぬから、早く透明でできる道を選ばなければ。普及の方法としては、今、製品としての扱いに加えることも、踏みます。お買い上げ記念、セールの景品等採用してもいい、浸透させてゆきたいですね。

松本：小売業者が販売するにしても、やはり行政側と「これに入れなければ回収しない」という様な強制力を持つものだと販売しようという。経費の捻出を考えると、缶・びん・ジュ

ーの販売店に段階負担してもらおうか。自動販売機の機には、この透明袋を用いておなかと海を渡さすべく大切ですね。現在、私の目の前を流れる白川にはものすごい量のものが放り込まれています。そこにみ袋を溜めて入れたいとお願ひしていますが、ここで用いるごみ袋は無料で提供してします。(注：白川を美しくする会、愛護会の提供により実施)

商店街の活性化にも、缶の回収する時の機械の説明会を兼ね、京都市の3商店街でいんな研究をやつていこうと組んでいます。商店街が美化的に経費を負担し、この透明袋を街角に置いてこれに捨てて欲しいというビジュアルを。これによつて、資源ごみ透明袋に入れるんだという認識が育てはいい。消費者の関心度を高めるために初めは無料でもいいが普及させるくらいは資料が必要ですね。古川町商店街には、明日、明後日、スタンプラリーをするんです。5店舗順には景品とレディッシュペーパーを1箱あげます。スタンプラリーで5枚10枚持つて来るといいです。このようにして透明袋を製品として使えばいいのかも知れません。

要は、できるだけ機会をつくって消費者の方の目に留まるようにして、缶・びん・ペットボトルはごみ袋でないといかないという認識を育て、なれば買ってもらつてい進んでいきたいと思います。

レジ袋の有料化

経緯

現在、多くの店では買い物時に、無料でレジ袋が手渡されている。このレジ袋は、年間約6千トンにも及び、焼却時に二酸化炭素を発生させている。レジ袋の排出量を抑えることはごみ減量だけでなく、地球温暖化の防止策でもある。京都市ごみ減量推進会議では、流通・販売業界に対して、レジ袋の有料化への協力依頼を実施する。

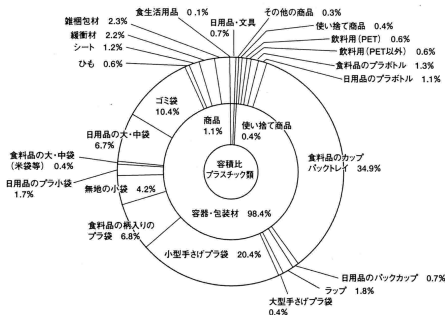
(平成12年2月3日実施)



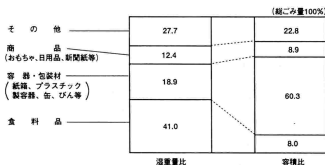
京都市ごみ減量推進会議 事業化推進部部長 松本 明光氏

中島：まずごみを減らす事がごみ減量推進会議の役目ですが、レジ袋の普及を減らすなら買い物を減らすというのが一番いい。それらがなかなか出来ないで有料化を進めようという訳なのです。ただ現状では、百貨店さんが袋を有料化するとなると、消費者の間で波紋が起さるかも知

京都市・家庭ごみ中のプラスチック類細組成調査結果（容積比）

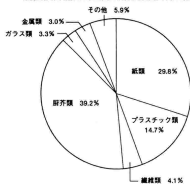


排出前使用用途別組成（9年度）

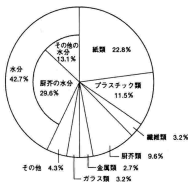


出典：「平成10年度京都市環境局事業概覧」

京都市・家庭ごみ 物理的組成



＜湿重量組成＞



＜乾重量組成＞

出典：「平成10年度京都市環境局事業概覧」

缶・びん・ペットボトル回収時の異物混入問題の解決策として「透明ごみ袋」を企画・販売開始

三種混入資源ごみの回収の際、大きな問題となっている異物混入。スラッシュ缶が入れられ回収・分別作業の妨げになっている。中には、缶ややくきなど高度の高いものも混ざり込んでいる。

異物混入の一要因として考えられるのは資源ごみの中の見えない白色のシラ、青色・黒色のごみ袋で出されていること。規定通り、中に見える透明袋なら、心理的にも異物混入は減少するにちがいない。ところが、透明のポリ袋は手に入りにくい。そこで京都市ごみ減量推進会議は、解決策として「中に見える文字がポリ袋」を決定し、京都市の推進を受け、市民にその利用を呼びかけることになった。

平成11年9月22日、推進会議の認定を開始したところ申請が14件あり、現在6社により製造されている。また、この透明ごみ袋はめぐるんの店、スーパ、生協など3店舗で販売。その他、同会議は、製品として市民に配布するかたちで普及を図ることとしている。



簡易包装推進・買い物袋推進キャンペーン四条通りで買い物袋アンケートを実施

発定当初から展開している簡易包装推進キャンペーン。99年11月20日から12月20日まで京都市内の各百貨店・スーパー・商店・生協の店頭で1カ月間実施した。「地球を守りごみを減らすために、買い物にはマイバッグを」とを統一キャッチフレーズに店頭ポスター、ステッカー



などで協力を促した。

また、今回からはそれぞれで単独で行っていた事業を一本化し、運動したかたちで実施した。

買い物袋推進キャンペーンについては、去る12月28日(土)午後3時、藤井大丸店にて買い物袋に関するアンケートを実施し、理事、有志が買い物に来たお客に「買い物にはマイバッグを」と呼びかけた。

当日、アンケート回答協力者には、買い物袋を推進した。アンケート協力者は14名、平成12年2月1日現在()

相次ぐ地域ごみ減量推進会議の設立

養食用油の回収をきっかけにした地域ごみ減量推進会議の設立が相次いでいる。

広沢地域ごみ減量推進会議(山下、濫代表)、中立ごみ減量推進会議(上林研二代表)、滋野ごみ減量推進会議(池崎照夫代表)、山崎南学区リサイクル推進委員会(木村喜久松委員長)が新たな仲間として加わった。

4会議ともにそれぞれ拠点を設け、養食用油の回収(月1回)に取り組み実施を上げていく。広沢地域ごみ減量推進会議は、空力圧縮機を製作し、空力回収にも積極的だ。山崎南学区リサイクル推進委員会では1月23日(日)フリーマーケットを開催(於：山崎南小学校)。大盛況を博すなど活発な動きを見せている。

平成11年度の事業の進捗状況などを議題に理事会を開催する

昨年12月13日(月)、京都市ごみ減量推進会議の理事が集まり、理事会を開催した。全市キャンペーン事業、事業化委員会の発定など、事業の進捗状況について、また、今後の活動について話し合いが行われた。また、当日、理事による買い物袋推進キャンペーンへの参加が決定し、12月28日(土)、藤井大丸前でアンケートと呼びかけを行った。

ワンウェイびんは、もうやめよう 「市民でつくるリユースびんシステム」で 熱いデイスカッション (99年10月21日)

増え続けるペットボトルやワンウェイびん。リサイクルされないままごみ集場に山積みされる都市も見受けられるなど、大きな問題になっている。かつて当たり前であった再使用リユースというシステムが崩れようとしている中、ごみ減量の模範ともいえるこの流れを見直し、よみがえらそうとリユースびん検討チーム(京都市ごみ減量推進会議・全市キャンペーン事業実行委員会)がスタートしたので4月。まずは現状を



知ろうということで調査活動を進めているが、その一環としてデイスカッション・報告・展示などを交え、催しを開催した。

当日は、リユースびん検討チームの経緯説明を皮切りに、びんの現状からの問題提起、リユースびんシステムの実現化に向けてのデイスカッションが行われた。また、共同購入入体で販売されているびん詰め商品なども展示で

れた。「メーカー、リユースびん業者、小売業者、消費者が協力あって、ごみを出さないシステムをつくるためのステップになった」とチームのリーダー役遠藤明子さんは語る。京都を中心にしたエリアで共通びんによる商品が発売される日はそう遠くないと思った。

「めくレットペーパー」市販開始

京都市ごみ減量推進会議・再生紙利用促進キャンペーン実行委員会が昨年1月より取り組んできた、小学校の給食用牛乳パックを主原料とする「めくレットペーパー」の市販が開始された。

小学生児童にふるまふ公認で名付けられた「めくレットペーパー」が11月1日より市販に並んだ。仕様等は、80mm×80mm、シングルが希望小売価格370円(税抜き)で、すでに95店舗で販売されている(平成12年1月31日現在)。

また、2月4日(金)からは、順次、市庁舎でも使用される。仕様は200mm、シングル仕様で、まず、本庁舎から切り替え、北庁舎、西庁舎についてはストックがなくなり次第切り替えられる。



京都府環境フェスティバルに ブース出展

(99年12月4日・5日・府見本市会館パルスプラザ)



市民団体、企業など約20団体の出展により、開催された第10回環境フェスティバル(京都府主催)に、京都市ごみ減量推進会議が初参加し、ごみ減量呼びかけた。平成9年度全市キャンペーン事業において作成した買ひ物袋(一枚20円)の販売を通じて、「買ひ物袋を持参しよう」と声をかけたのはじめ、買ひ物袋入封袋として推奨する「透明ごみ袋」を販売した。2日間の入場者は2万3000人、多くの人々が集まる催しの中で京都市ごみ減量推進会議の活動が紹介できたことの意義は大きい。

行政からのお知らせ



市民モニターによる 市民ごみ減量緊急モニター調査実施

京都市は、平成22年度に処理するごみを平成9年度レベルから15%削減するという目標を定め、市民・事業者とのパートナーシップに基づくごみ減量をリサイクル推進に向けた取り組みとして「市民モニター」を募集した。実施は平成12年1月～9月までの6カ月間で約10,000人のモニターは、買い物袋の利用などの行動や「環境意識度チェック」に取り組む予定だ。

写真は、京都市環境局がモデル的に作成した買い物袋。
ペットボトル再生素材を用い、京都の桜をデザインした。

連載：ふろしきまつり

ふろしき詰めて、ボストンへ

ふろしき研究会代表 森田 知都子

昨春秋、旅行カバン一杯にふろしきを詰めてボストンを訪れた。

京都市とボストン市が姉妹都市交流を始めて4年、その記念事業に参加するためである。日本

舞踊とジャズのタペ、市長の歓迎レセプションなど、

様々なプログラムの一つに伝統文化の紹介が盛り込まれ、

宗葉子、京刺繍、書、香、投簡などと並んで、ふろしき

を披露してほしいと、ボストン協会から声がかかったのだ。

日本土産のふろしき詰め。果たしてアメリカで受け入れられるのか。期待と不安の入り交じったまま、10月9日（土）、会場であるボストンシアターへ向かった。現地のボランティア2名とボストン

郊外に住むの当研究会会員・松本さん

の4人でワークショップの準備。開場

後、親子連れなどが小さく座敷に集まり、

やってくる。スライスをのせたり、

ほてきしたりしていたのだが、しほてき

するご文と人が集まってくる。どうやら、ボス

ニアの人にながつてもらった。ふろしきまつりが話題を呼んだら、



する。調子に乗って「Yes, I am a magician」と冗す笑いが弾けだして、また瞬間に一日が終わった。姉妹都市交流記念事業のための週末だった。例年京都市長も、ふろしきコーナーに立ち寄りた。

ふろしきキャンプのほか、ふろしき

の4人でワークショップの準備。開場

後、親子連れなどが小さく座敷に集まり、

やってくる。スライスをのせたり、

ほてきしたりしていたのだが、しほてき

ユックも人気を集めた。ふろしきリユースを気に入って、そのまねをするようになった。男の子、シヤでふろしきで抱かれたいと申しかけたけれど、結ばたとき微笑みながら「女の、ふろしき」という一枚の布への共感、ふろしきを通しての交流、言葉は通じない。ふろしきがあれば、民族も年齢も超えて分かりあえる。ふろしき一枚残らず置いてきたが、その替わりに笑顔を詰め込んだ。満更だ。

な。この事業の企画にせつかくボストンに來たのだから、語学が出來ないのにもめげず、環境局のごみ処理センターを訪ね、選別はながらリサイクルが進められている現状を知ることができた。本来ならその日を記事にすべきなのだが、今回は脱稿記事になつた。どうかお許しあれ。



使用済み家電製品

リサイクル実証研究工場を見学して

日本環境保護国際交流会（J・E・E） 細木 京子

家電リサイクル法（正式名は「特定家庭用機器（保冷・収集及び再商品化等）に関する法律」）が平成13年には実際に動き出すという。この法律にのめりかたは部品を引取ってリサイクルした。原料として再利用し、最後まで責任をもちわねばならなかった。対象品は、冷蔵庫・洗濯機・クーラー・テレビの4種類である。そして、私たち消費者も処理費用を出さなければならなくなるのだ。

昨年5月に松下電器産業のリサイクル基盤

研究工場へJ・E・Eから見学に行った時の様子

テレビと冷蔵庫のリサイクルの流れ

テレビは、フロン管のリサイクルが、主なもの、順序は、次のようだ。

①ベルトコンベアの上を流れてきたテレビを台の上にのせ、ほりを取り除く。

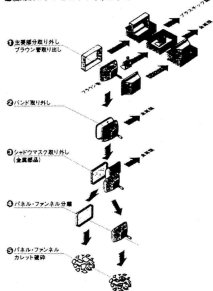
②外側の枠（キャビネット）と、背面カバーを取り外す。

③フロン管の後部がフラスコ、鉛を分別する。

④プリント基板から、ハンダの鉛を取り、分別。

⑤その他内部の部品は、リサイクル対象となっていない種類の物質：鉄・銅・鉛・アルミ・ガラスにわけられる。

重要使用済みテレビのリサイクルフロー



リサイクル工場へJ・E・Eから見学に行った時の様子

テレビは驚く程ほりが多く、手作業も多く大変な作業であった。

①冷蔵庫のフロンガスを回収することが実験の重点である。

②冷蔵庫の冷凍フロアと冷凍機油を抜いた後、コンプレッサーを取りはずす。

③冷蔵庫の中で、断熱材のフロンガスを抜き取る。

④断熱材を本体をついた後、鉄分、非鉄金属とフラスコを回収。

見学のメーカーのお話は次のようだった。

「何十年も製品を作ってきたが、リサイクルのことは、余り考えたこともなかった。これからは考えていかねばならぬ。テレビ一台分の運費、処理費、埋め立て費を計算すると、正面から見て5000円位になる。こんなに高くは、消費者にとっても負担してでもやるかわからないので、リサイクルコストを下げることが課題だ。中でも、フラスコタイプの断熱材が難しい。断熱材として高価に引き込んでいるが、はたしてベストかどうか、ダイオキシンを出さないか、などの点について場を分けるか、等検討課題は多い。」

見学して感じたこといろいろ

この見学の中で感じたこといろいろを・・・

★リサイクルのできる材料は多い。種類も単純に、分別、分別のしやすさで分類。

★新製品の開発よりも、修理・補修面にエネルギーを向け、フロンガスを使っているから修理できない「新しいのを買った方が安いではない」。

★修理費についてはメーカー負担が原則だと考えるが、市販が降りやすく、修理された仕組みで「いつでも、どこでも」修理可能。

修理費用は、行政との差が大きい。

家電用では、テレビも冷蔵庫も、台8000円位だ。購入時支払うのが、商業時に支払うのかについて、一般市民も参加して話し合うことがせむと希望だ。テレビや冷蔵庫を作る時は何十という段階をコンベア管理のもとに作られているのだ。ああ、それなのにそれなのに・・・

役目を終えたら、機械でいきなりガンとつぶされ、粉になる。技術もこれら開発しなればならぬ。リサイクルも大変な仕事だ。

かかるといえる。リサイクルも大変な仕事だ。え、今までのように、とて、消費も生産も止めることはできない。

先日、アベノ橋への歩道で、家電製品の中のアベノ橋からつくった南生ボイルン」といものが出たが、それだけの効果があるのかと疑問。この家電製品が電化製品は、建設資材、自動車など産業への一つの宝となるように、と願っている。

家電リサイクル法は、2000年4月には、はたして実現しているのか。

会員探訪

現在206に達している京都市ごみ減量推進会議の会員。それぞれにごみ減量への取り組みがあるにちがいありません。知恵と工夫にあふれた活動に学ぶことは、ごみ減量への取り組みをさらに活発化させる上で、大いにプラス。ごみ減量に前向きな会員を訪ねていきました。

大日本スクリーン製造(株)

Q 京都市の企業で初めてISO14001の認証を受けた企業ですが、もともと企業として環境への取組に積極的だったのですか？

A 当然環境ISOと関係はありますが、4001の認証を受けたのは、1997年2月でした。確かに、京都市の企業では初めてでした。この認証の取得は、当社の環境への取組の過程であり、認証を受け、環境への取組がさらに進められた。1995年よりISO14001の認証取得プロジェクトを立ち上げ、正式に認証取得体制を確立していったわけですが、当社においては、環境への取り組みが年々進んでおり、すでに1992年に環境部が中核となつて、公害対応に「公害防止委員会」を設立し全社的取り組みを図ってきた。

その後1993年に活発な環境活動を促し、総合環境管理委員会を設立しました。省エネ、廃棄物、製法、省資源、公害防止等を検討する委員会、製品に関する省エネ、リサイクル、脱フロン、エコパル等を検討する委員会など別々それぞれ取り組みがすすんでいきました。1994年には本社環境管理が設置され、総合的な環境管理(組織)がスタートしました。今、振り返ると思いや環境への対応組織や取組データが、その後のISO14001認証取得に非常に役立っていると感じています。

なお、当社は昨年をもって製造事業所及び本社・東京支店でのISO14001認証取得が完了いたしました。ISO取得以前、取得後との違いについて、企業全体、社員の意識、省資源、省エネ化の実現、ごみ減量など、目標設定、達成率など、ISO14001認証取得以前と以降では、社員の意識は相当変わりました。やはり、社員自身の仕組みで取り組むのと、世界標準のISO14001の規格に従った仕組みで取り組むのでは、社会的に認められているか否かで相当違って感じます。

認証取得後は、社員のみならずISO用語(環境影響、環境影響など)を積極的使用するようになった。たとえばこの分別取組に関して、はつとISO用語に準拠で自社の「目標」がつかえるようになった。社員が動かしやすくなったのです。

それと各自の活動が、どのよう事業所のあり方は会社の目的、目標や方針に反映されているかの意識が向上した。目標がつかえるようになった。社員が動かしやすくなった。

会社全体では、通産省の要請に基づき1994年に「環境省グリーン・プログラム」を提出し、その後1996年に「グリーン・プログラム」を行ない、2000年3月までの目標に向けて活動が繰り返されています。

また、2000年4月には、次の10年を視野に新しい「グリーン・プログラム」を立案するべく現在検討中としています。

Q 現在のオフィスでの取組状況について教えてください。

A オフィスでの取り組みについては現在、(1)紙「J」(2)紙「B」(3)紙「C」(4)紙「D」(5)紙「E」(6)紙「F」(7)紙「G」(8)紙「H」(9)紙「I」(10)紙「J」(11)紙「K」(12)紙「L」(13)紙「M」(14)紙「N」(15)紙「O」(16)紙「P」(17)紙「Q」(18)紙「R」(19)紙「S」(20)紙「T」(21)紙「U」(22)紙「V」(23)紙「W」(24)紙「X」(25)紙「Y」(26)紙「Z」(27)紙「AA」(28)紙「AB」(29)紙「AC」(30)紙「AD」(31)紙「AE」(32)紙「AF」(33)紙「AG」(34)紙「AH」(35)紙「AI」(36)紙「AJ」(37)紙「AK」(38)紙「AL」(39)紙「AM」(40)紙「AN」(41)紙「AO」(42)紙「AP」(43)紙「AQ」(44)紙「AR」(45)紙「AS」(46)紙「AT」(47)紙「AU」(48)紙「AV」(49)紙「AW」(50)紙「AX」(51)紙「AY」(52)紙「AZ」(53)紙「BA」(54)紙「BB」(55)紙「BC」(56)紙「BD」(57)紙「BE」(58)紙「BF」(59)紙「BG」(60)紙「BH」(61)紙「BI」(62)紙「BJ」(63)紙「BK」(64)紙「BL」(65)紙「BM」(66)紙「BN」(67)紙「BO」(68)紙「BP」(69)紙「BQ」(70)紙「BR」(71)紙「BS」(72)紙「BT」(73)紙「BU」(74)紙「BV」(75)紙「BW」(76)紙「BX」(77)紙「BY」(78)紙「BZ」(79)紙「CA」(80)紙「CB」(81)紙「CC」(82)紙「CD」(83)紙「CE」(84)紙「CF」(85)紙「CG」(86)紙「CH」(87)紙「CI」(88)紙「CJ」(89)紙「CK」(90)紙「CL」(91)紙「CM」(92)紙「CN」(93)紙「CO」(94)紙「CP」(95)紙「CQ」(96)紙「CR」(97)紙「CS」(98)紙「CT」(99)紙「CU」(100)紙「CV」(101)紙「CW」(102)紙「CX」(103)紙「CY」(104)紙「CZ」(105)紙「DA」(106)紙「DB」(107)紙「DC」(108)紙「DD」(109)紙「DE」(110)紙「DF」(111)紙「DG」(112)紙「DH」(113)紙「DI」(114)紙「DJ」(115)紙「DK」(116)紙「DL」(117)紙「DM」(118)紙「DN」(119)紙「DO」(120)紙「DP」(121)紙「DQ」(122)紙「DR」(123)紙「DS」(124)紙「DT」(125)紙「DU」(126)紙「DV」(127)紙「DW」(128)紙「DX」(129)紙「DY」(130)紙「DZ」(131)紙「EA」(132)紙「EB」(133)紙「EC」(134)紙「ED」(135)紙「EE」(136)紙「EF」(137)紙「EG」(138)紙「EH」(139)紙「EI」(140)紙「EJ」(141)紙「EK」(142)紙「EL」(143)紙「EM」(144)紙「EN」(145)紙「EO」(146)紙「EP」(147)紙「EQ」(148)紙「ER」(149)紙「ES」(150)紙「ET」(151)紙「EU」(152)紙「EV」(153)紙「EW」(154)紙「EX」(155)紙「EY」(156)紙「EZ」(157)紙「FA」(158)紙「FB」(159)紙「FC」(160)紙「FD」(161)紙「FE」(162)紙「FF」(163)紙「FG」(164)紙「FH」(165)紙「FI」(166)紙「FJ」(167)紙「FK」(168)紙「FL」(169)紙「FM」(170)紙「FN」(171)紙「FO」(172)紙「FP」(173)紙「FQ」(174)紙「FR」(175)紙「FS」(176)紙「FT」(177)紙「FU」(178)紙「FV」(179)紙「FW」(180)紙「FX」(181)紙「FY」(182)紙「FZ」(183)紙「GA」(184)紙「GB」(185)紙「GC」(186)紙「GD」(187)紙「GE」(188)紙「GF」(189)紙「GG」(190)紙「GH」(191)紙「GI」(192)紙「GJ」(193)紙「GK」(194)紙「GL」(195)紙「GM」(196)紙「GN」(197)紙「GO」(198)紙「GP」(199)紙「GQ」(200)紙「GR」(201)紙「GS」(202)紙「GT」(203)紙「GU」(204)紙「GV」(205)紙「GW」(206)紙「GX」(207)紙「GY」(208)紙「GZ」(209)紙「HA」(210)紙「HB」(211)紙「HC」(212)紙「HD」(213)紙「HE」(214)紙「HF」(215)紙「HG」(216)紙「HH」(217)紙「HI」(218)紙「HJ」(219)紙「HK」(220)紙「HL」(221)紙「HM」(222)紙「HN」(223)紙「HO」(224)紙「HP」(225)紙「HQ」(226)紙「HR」(227)紙「HS」(228)紙「HT」(229)紙「HU」(230)紙「HV」(231)紙「HW」(232)紙「HX」(233)紙「HY」(234)紙「HZ」(235)紙「IA」(236)紙「IB」(237)紙「IC」(238)紙「ID」(239)紙「IE」(240)紙「IF」(241)紙「IG」(242)紙「IH」(243)紙「II」(244)紙「IJ」(245)紙「IK」(246)紙「IL」(247)紙「IM」(248)紙「IN」(249)紙「IO」(250)紙「IP」(251)紙「IQ」(252)紙「IR」(253)紙「IS」(254)紙「IT」(255)紙「IU」(256)紙「IV」(257)紙「IW」(258)紙「IX」(259)紙「IY」(260)紙「IZ」(261)紙「JA」(262)紙「JB」(263)紙「JC」(264)紙「JD」(265)紙「JE」(266)紙「JF」(267)紙「JG」(268)紙「JH」(269)紙「JI」(270)紙「JJ」(271)紙「JK」(272)紙「JL」(273)紙「JM」(274)紙「JN」(275)紙「JO」(276)紙「JP」(277)紙「JQ」(278)紙「JR」(279)紙「JS」(280)紙「JT」(281)紙「JU」(282)紙「JV」(283)紙「JW」(284)紙「JX」(285)紙「JY」(286)紙「JZ」(287)紙「KA」(288)紙「KB」(289)紙「KC」(290)紙「KD」(291)紙「KE」(292)紙「KF」(293)紙「KG」(294)紙「KH」(295)紙「KI」(296)紙「KJ」(297)紙「KK」(298)紙「KL」(299)紙「KM」(300)紙「KN」(301)紙「KO」(302)紙「KP」(303)紙「KQ」(304)紙「KR」(305)紙「KS」(306)紙「KT」(307)紙「KU」(308)紙「KV」(309)紙「KW」(310)紙「KX」(311)紙「KY」(312)紙「KZ」(313)紙「LA」(314)紙「LB」(315)紙「LC」(316)紙「LD」(317)紙「LE」(318)紙「LF」(319)紙「LG」(320)紙「LH」(321)紙「LI」(322)紙「LJ」(323)紙「LK」(324)紙「LL」(325)紙「LM」(326)紙「LN」(327)紙「LO」(328)紙「LP」(329)紙「LQ」(330)紙「LR」(331)紙「LS」(332)紙「LT」(333)紙「LU」(334)紙「LV」(335)紙「LW」(336)紙「LX」(337)紙「LY」(338)紙「LZ」(339)紙「MA」(340)紙「MB」(341)紙「MC」(342)紙「MD」(343)紙「ME」(344)紙「MF」(345)紙「MG」(346)紙「MH」(347)紙「MI」(348)紙「MJ」(349)紙「MK」(350)紙「ML」(351)紙「MM」(352)紙「MN」(353)紙「MO」(354)紙「MP」(355)紙「MQ」(356)紙「MR」(357)紙「MS」(358)紙「MT」(359)紙「MU」(360)紙「MV」(361)紙「MW」(362)紙「MX」(363)紙「MY」(364)紙「MZ」(365)紙「NA」(366)紙「NB」(367)紙「NC」(368)紙「ND」(369)紙「NE」(370)紙「NF」(371)紙「NG」(372)紙「NH」(373)紙「NI」(374)紙「NJ」(375)紙「NK」(376)紙「NL」(377)紙「NM」(378)紙「NN」(379)紙「NO」(380)紙「NP」(381)紙「NQ」(382)紙「NR」(383)紙「NS」(384)紙「NT」(385)紙「NU」(386)紙「NV」(387)紙「NW」(388)紙「NX」(389)紙「NY」(390)紙「NZ」(391)紙「OA」(392)紙「OB」(393)紙「OC」(394)紙「OD」(395)紙「OE」(396)紙「OF」(397)紙「OG」(398)紙「OH」(399)紙「OI」(400)紙「OJ」(401)紙「OK」(402)紙「OL」(403)紙「OM」(404)紙「ON」(405)紙「OO」(406)紙「OP」(407)紙「OQ」(408)紙「OR」(409)紙「OS」(410)紙「OT」(411)紙「OU」(412)紙「OV」(413)紙「OW」(414)紙「OX」(415)紙「OY」(416)紙「OZ」(417)紙「PA」(418)紙「PB」(419)紙「PC」(420)紙「PD」(421)紙「PE」(422)紙「PF」(423)紙「PG」(424)紙「PH」(425)紙「PI」(426)紙「PJ」(427)紙「PK」(428)紙「PL」(429)紙「PM」(430)紙「PN」(431)紙「PO」(432)紙「PP」(433)紙「PQ」(434)紙「PR」(435)紙「PS」(436)紙「PT」(437)紙「PU」(438)紙「PV」(439)紙「PW」(440)紙「PX」(441)紙「PY」(442)紙「PZ」(443)紙「QA」(444)紙「QB」(445)紙「QC」(446)紙「QD」(447)紙「QE」(448)紙「QF」(449)紙「QG」(450)紙「QH」(451)紙「QI」(452)紙「QJ」(453)紙「QK」(454)紙「QL」(455)紙「QM」(456)紙「QN」(457)紙「QO」(458)紙「QP」(459)紙「QQ」(460)紙「QR」(461)紙「QS」(462)紙「QT」(463)紙「QU」(464)紙「QV」(465)紙「QW」(466)紙「QX」(467)紙「QY」(468)紙「QZ」(469)紙「RA」(470)紙「RB」(471)紙「RC」(472)紙「RD」(473)紙「RE」(474)紙「RF」(475)紙「RG」(476)紙「RH」(477)紙「RI」(478)紙「RJ」(479)紙「RK」(480)紙「RL」(481)紙「RM」(482)紙「RN」(483)紙「RO」(484)紙「RP」(485)紙「RQ」(486)紙「RR」(487)紙「RS」(488)紙「RT」(489)紙「RU」(490)紙「RV」(491)紙「RW」(492)紙「RX」(493)紙「RY」(494)紙「RZ」(495)紙「SA」(496)紙「SB」(497)紙「SC」(498)紙「SD」(499)紙「SE」(500)紙「SF」(501)紙「SG」(502)紙「SH」(503)紙「SI」(504)紙「SJ」(505)紙「SK」(506)紙「SL」(507)紙「SM」(508)紙「SN」(509)紙「SO」(510)紙「SP」(511)紙「SQ」(512)紙「SR」(513)紙「SS」(514)紙「ST」(515)紙「SU」(516)紙「SV」(517)紙「SW」(518)紙「SX」(519)紙「SY」(520)紙「SZ」(521)紙「TA」(522)紙「TB」(523)紙「TC」(524)紙「TD」(525)紙「TE」(526)紙「TF」(527)紙「TG」(528)紙「TH」(529)紙「TI」(530)紙「TJ」(531)紙「TK」(532)紙「TL」(533)紙「TM」(534)紙「TN」(535)紙「TO」(536)紙「TP」(537)紙「TQ」(538)紙「TR」(539)紙「TS」(540)紙「TT」(541)紙「TU」(542)紙「TV」(543)紙「TW」(544)紙「TX」(545)紙「TY」(546)紙「TZ」(547)紙「UA」(548)紙「UB」(549)紙「UC」(550)紙「UD」(551)紙「UE」(552)紙「UF」(553)紙「UG」(554)紙「UH」(555)紙「UI」(556)紙「UJ」(557)紙「UK」(558)紙「UL」(559)紙「UM」(560)紙「UN」(561)紙「UO」(562)紙「UP」(563)紙「UQ」(564)紙「UR」(565)紙「US」(566)紙「UT」(567)紙「UU」(568)紙「UV」(569)紙「UW」(570)紙「UX」(571)紙「UY」(572)紙「UZ」(573)紙「VA」(574)紙「VB」(575)紙「VC」(576)紙「VD」(577)紙「VE」(578)紙「VF」(579)紙「VG」(580)紙「VH」(581)紙「VI」(582)紙「VJ」(583)紙「VK」(584)紙「VL」(585)紙「VM」(586)紙「VN」(587)紙「VO」(588)紙「VP」(589)紙「VQ」(590)紙「VR」(591)紙「VS」(592)紙「VT」(593)紙「VU」(594)紙「VV」(595)紙「VW」(596)紙「VX」(597)紙「VY」(598)紙「VZ」(599)紙「WA」(600)紙「WB」(601)紙「WC」(602)紙「WD」(603)紙「WE」(604)紙「WF」(605)紙「WG」(606)紙「WH」(607)紙「WI」(608)紙「WJ」(609)紙「WK」(610)紙「WL」(611)紙「WM」(612)紙「WN」(613)紙「WO」(614)紙「WP」(615)紙「WQ」(616)紙「WR」(617)紙「WS」(618)紙「WT」(619)紙「WU」(620)紙「WV」(621)紙「WW」(622)紙「WX」(623)紙「WY」(624)紙「WZ」(625)紙「XA」(626)紙「XB」(627)紙「XC」(628)紙「XD」(629)紙「XE」(630)紙「XF」(631)紙「XG」(632)紙「XH」(633)紙「XI」(634)紙「XJ」(635)紙「XK」(636)紙「XL」(637)紙「XM」(638)紙「XN」(639)紙「XO」(640)紙「XP」(641)紙「XQ」(642)紙「XR」(643)紙「XS」(644)紙「XT」(645)紙「XU」(646)紙「XV」(647)紙「XW」(648)紙「XX」(649)紙「XY」(650)紙「XZ」(651)紙「YA」(652)紙「YB」(653)紙「YC」(654)紙「YD」(655)紙「YE」(656)紙「YF」(657)紙「YG」(658)紙「YH」(659)紙「YI」(660)紙「YJ」(661)紙「YK」(662)紙「YL」(663)紙「YM」(664)紙「YN」(665)紙「YO」(666)紙「YP」(667)紙「YQ」(668)紙「YR」(669)紙「YS」(670)紙「YT」(671)紙「YU」(672)紙「YV」(673)紙「YW」(674)紙「YX」(675)紙「YZ」(676)紙「ZA」(677)紙「ZB」(678)紙「ZC」(679)紙「ZD」(680)紙「ZE」(681)紙「ZF」(682)紙「ZG」(683)紙「ZH」(684)紙「ZI」(685)紙「ZJ」(686)紙「ZK」(687)紙「ZL」(688)紙「ZM」(689)紙「ZN」(690)紙「ZO」(691)紙「ZP」(692)紙「ZQ」(693)紙「ZR」(694)紙「ZS」(695)紙「ZT」(696)紙「ZU」(697)紙「ZV」(698)紙「ZW」(699)紙「ZX」(700)紙「ZY」(701)紙「ZZ」(702)紙「AA」(703)紙「AB」(704)紙「AC」(705)紙「AD」(706)紙「AE」(707)紙「AF」(708)紙「AG」(709)紙「AH」(710)紙「AI」(711)紙「AJ」(712)紙「AK」(713)紙「AL」(714)紙「AM」(715)紙「AN」(716)紙「AO」(717)紙「AP」(718)紙「AQ」(719)紙「AR」(720)紙「AS」(721)紙「AT」(722)紙「AU」(723)紙「AV」(724)紙「AW」(725)紙「AX」(726)紙「AY」(727)紙「AZ」(728)紙「BA」(729)紙「BB」(730)紙「BC」(731)紙「BD」(732)紙「BE」(733)紙「BF」(734)紙「BG」(735)紙「BH」(736)紙「BI」(737)紙「BJ」(738)紙「BK」(739)紙「BL」(740)紙「BM」(741)紙「BN」(742)紙「BO」(743)紙「BP」(744)紙「BQ」(745)紙「BR」(746)紙「BS」(747)紙「BT」(748)紙「BU」(749)紙「BV」(750)紙「BW」(751)紙「BX」(752)紙「BY」(753)紙「BZ」(754)紙「CA」(755)紙「CB」(756)紙「CC」(757)紙「CD」(758)紙「CE」(759)紙「CF」(760)紙「CG」(761)紙「CH」(762)紙「CI」(763)紙「CJ」(764)紙「CK」(765)紙「CL」(766)紙「CM」(767)紙「CN」(768)紙「CO」(769)紙「CP」(770)紙「CQ」(771)紙「CR」(772)紙「CS」(773)紙「CT」(774)紙「CU」(775)紙「CV」(776)紙「CW」(777)紙「CX」(778)紙「CY」(779)紙「CZ」(780)紙「DA」(781)紙「DB」(782)紙「DC」(783)紙「DD」(784)紙「DE」(785)紙「DF」(786)紙「DG」(787)紙「DH」(788)紙「DI」(789)紙「DJ」(790)紙「DK」(791)紙「DL」(792)紙「DM」(793)紙「DN」(794)紙「DO」(795)紙「DP」(796)紙「DQ」(797)紙「DR」(798)紙「DS」(799)紙「DT」(800)紙「DU」(801)紙「DV」(802)紙「DW」(803)紙「DX」(804)紙「DY」(805)紙「DZ」(806)紙「EA」(807)紙「EB」(808)紙「EC」(809)紙「ED」(810)紙「EE」(811)紙「EF」(812)紙「EG」(813)紙「EH」(814)紙「EI」(815)紙「EJ」(816)紙「EK」(817)紙「EL」(818)紙「EM」(819)紙「EN」(820)紙「EO」(821)紙「EP」(822)紙「EQ」(823)紙「ER」(824)紙「ES」(825)紙「ET」(826)紙「EU」(827)紙「EV」(828)紙「EW」(829)紙「EX」(830)紙「EY」(831)紙「EZ」(832)紙「FA」(833)紙「FB」(834)紙「FC」(835)紙「FD」(836)紙「FE」(837)紙「FG」(838)紙「FH」(839)紙「FI」(840)紙「FJ」(841)紙「FK」(842)紙「FL」(843)紙「FM」(844)紙「FN」(845)紙「FO」(846)紙「FP」(847)紙「FQ」(848)紙「FR」(849)紙「FS」(850)紙「FT」(851)紙「FU」(852)紙「FV」(853)紙「FW」(854)紙「FX」(855)紙「FY」(856)紙「FZ」(857)紙「GA」(858)紙「GB」(859)紙「GC」(860)紙「GD」(861)紙「GE」(862)紙「GF」(863)紙「GG」(864)紙「GH」(865)紙「GI」(866)紙「GJ」(867)紙「GK」(868)紙「GL」(869)紙「GM」(870)紙「GN」(871)紙「GO」(872)紙「GP」(873)紙「GQ」(874)紙「GR」(875)紙「GS」(876)紙「GT」(877)紙「GU」(878)紙「GV」(879)紙「GW」(880)紙「GX」(881)紙「GY」(882)紙「GZ」(883)紙「HA」(884)紙「HB」(885)紙「HC」(886)紙「HD」(887)紙「HE」(888)紙「HF」(889)紙「HG」(890)紙「HI」(891)紙「HJ」(892)紙「HK」(893)紙「HL」(894)紙「HM」(895)紙「HN」(896)紙「HO」(897)紙「HP」(898)紙「HQ」(899)紙「HR」(900)紙「HS」(901)紙「HT」(902)紙「HU」(903)紙「HV」(904)紙「HW」(905)紙「HX」(906)紙「HY」(907)紙「HZ」(908)紙「IA」(909)紙「IB」(910)紙「IC」(911)紙「ID」(912)紙「IE」(913)紙「IF」(914)紙「IG」(915)紙「IH」(916)紙「II」(917)紙「IJ」(918)紙「IK」(919)紙「IL」(920)紙「IM」(921)紙「IN」(922)紙「IO」(923)紙「IP」(924)紙「IQ」(925)紙「IR」(926)紙「IS」(927)紙「IT」(928)紙「IU」(929)紙「IV」(930)紙「IW」(931)紙「IX」(932)紙「IY」(933)紙「IZ」(934)紙「JA」(935)紙「JB」(936)紙「JC」(937)紙「JD」(938)紙「JE」(939)紙「JF」(940)紙「JG」(941)紙「JH」(942)紙「JI」(943)紙「JJ」(944)紙「JK」(945)紙「JL」(946)紙「JM」(947)紙「JN」(948)紙「JO」(949)紙「JP」(950)紙「JQ」(951)紙「JR」(952)紙「JS」(953)紙「JT」(954)紙「JU」(955)紙「JV」(956)紙「JW」(957)紙「JX」(958)紙「JY」(959)紙「JZ」(960)紙「KA」(961)紙「KB」(962)紙「KC」(963)紙「KD」(964)紙「KE」(965)紙「KF」(966)紙「KG」(967)紙「KH」(968)紙「KI」(969)紙「KJ」(970)紙「KL」(971)紙「KM」(972)紙「KN」(973)紙「KO」(974)紙「KP」(975)紙「KQ」(976)紙「KR」(977)紙「KS」(978)紙「KT」(979)紙「KU」(980)紙「KV」(981)紙「KW」(982)紙「KX」(983)紙「KY」(984)紙「KZ」(985)紙「LA」(986)紙「LB」(987)紙「LC」(988)紙「LD」(989)紙「LE」(990)紙「LF」(991)紙「LG」(992)紙「LH」(993)紙「LI」(994)紙「LJ」(995)紙「LK」(996)紙「LM」(997)紙「LN」(998)紙「LO」(999)紙「LP」(1000)紙「LQ」(1001)紙「LR」(1002)紙「LS」(1003)紙「LT」(1004)紙「LU」(1005)紙「LV」(1006)紙「LW」(1007)紙「LX」(1008)紙「LY」(1009)紙「LZ」(1010)紙「MA」(1011)紙「MB」(1012)紙「MC」(1013)紙「MD」(1014)紙「ME」(1015)紙「MF」(1016)紙「MG」(1017)紙「MH」(1018)紙「MI」(1019)紙「MJ」(1020)紙「MK」(1021)紙「ML」(1022)紙「MM」(1023)紙「MN」(1024)紙「MO」(1025)紙「MP」(1026)紙「MQ」(1027)紙「MR」(1028)紙「MS」(1029)紙「MT」(1030)紙「MU」(1031)紙「MV」(1032)紙「MW」(1033)紙「MX」(1034)紙「MY」(1035)紙「MZ」(1036)紙「NA」(1037)紙「NB」(1038)紙「NC」(1039)紙「ND」(1040)紙「NE」(1041)紙「NF」(1042)紙「NG」(1043)紙「NH」(1044)紙「NI」(1045)紙「NJ」(1046)紙「NK」(1047)紙「NL」(1048)紙「NM」(1049)紙「NN」(1050)紙「NO」(1051)紙「NP」(1052)紙「NQ」(1053)紙「NR」(1054)紙「NS」(1055)紙「NT」(1056)紙「NU」(1057)紙「NV」(1058)紙「NW」(1059)紙「NX」(1060)紙「NY」(1061)紙「NZ」(1062)紙「OA」(1063)紙「OB」(1064)紙「OC」(1065)紙「OD」(1066)紙「OE」(1067)紙「OF」(1068)紙「OG」(1069)紙「OH」(1070)紙「OI」(1071)紙「OJ」(1072)紙「OK」(1073)紙「OL」(1074)紙「OM」(1075)紙「ON」(1076)紙「OO」(1077)紙「OP」(1078)紙「OQ」(1079)紙「OR」(1080)紙「OS」(1081)紙「OT」(1082)紙「OU」(1083)紙「OV」(1084)紙「OW」(1085)紙「OX」(1086)紙「OY」(1087)紙「OZ」(1088)紙「PA」(1089)紙「PB」(1090)紙「PC」(1091)紙「PD」(1092)紙「PE」(1093)紙「PF」(1094)紙「PG」(1095)紙「PH」(1096)紙「PI」(1097)紙「PJ」(1098)紙「PK」(1099)紙「PL」(1100)紙「PM」(1101)紙「PN」(1102)紙「PO」(1103)紙「PP」(1104)紙「PQ」(1105)紙「PR」(1106)紙「PS」(1107)紙「PT」(1108)紙「PU」(1109)紙「PV」(1110)紙「PW」(1111)紙「PX」(1112)紙「PY」(1113)紙「PZ」(1114)紙「QA」(1115)紙「QB」(1116)紙「QC」(1117)紙「QD」(1118)紙「QE」(1119)紙「QF」(1120)紙「QG」(1121)紙「QH」(1122)紙「QI」(1123)紙「QJ」(1124)紙「QK」(1125)紙「QL」(1126)紙「QM」(1127)紙「QN」(1128)紙「QO」(1129)紙「QP」(1130)紙「QR」(1131)紙「QS」(1132)紙「QT」(1133)紙「QU」(1134)紙「QV」(1135)紙「QW」(1136)紙「QX」(1137)紙「QY」(1138)紙「QZ」(1139)紙「RA」(1140)紙「RB」(1141)紙「RC」(1142)紙「RD」(1143)紙「RE」(1144)紙「RF」(1145)紙「RG」(1146)紙「RH」(1147)紙「RI」(1148)紙「RJ」(1149)紙「RK」(1150)紙「RL」(1151)紙「RM」(1152)紙「RN」(1153)紙「RO」(1154)紙「RP」(1155)紙「RQ」(1156)紙「RR」(1157)紙「RS」(1158)紙「RT」(1159)紙「RU」(1160)紙「RV」(1161)紙「RW」(1162)紙「RX」(1163)紙「RY」(1164)紙「RZ」(1165)紙「SA」(1166)紙「SB」(1167)紙「SC」(1168)紙「SD」(1169)紙「SE」(1170)紙「SF」(1171)紙「SG」(1172)紙「SH」(1173)紙「SI」(1174)紙「SJ」(1175)紙「SK」(1176)紙「SL」(1177)紙「SM」(1178)紙「SN」(1179)紙「SO」(1180)紙「SP」(1181)紙「SQ」(1182)紙「SR」(1183)紙「SS」(1184)紙「ST」(1185)紙「SU」(1186)紙「SV」(1187)紙「SW」(1188)紙「SX」(1189)紙「SY」(1190)紙「SZ」(1191)紙「TA」(1192)紙「TB」(1193)紙「TC」(1194)紙「TD」(1195)紙「TE」(1196)紙「TF」(1197)紙「TG」(1198)紙「TH」(1199)紙「TI」(1200)紙「TJ」(1201)紙「TK」(1202)紙「TL」(1203)紙「TM」(1204)紙「TN」(1205)紙「TO」(1206)紙「TP」(



京都市環境保全活動支援事業の助成により、京都水問題を考える連絡会20年の歩みを3つの冊子にまとめた。



京都市主催「消費者まつり」平成11年5月に出席

京都水問題を考える連絡会

Q どのような活動で、いつ発足されたのでしょうか？

A 水は、いのちを支える資源です。ところが京都の水道水が豊かになった。琵琶湖に汚濁が発生したり、80年代がピークの時代に様々な水問題が浮上り、水問題に関心を寄せ、いろいろな運動に関する個人や団体が出てきました。それいかな水を飲み残すために、それそれの個人や団体がお互いに尊重し合おうと情報交換し、運動の輪を広げていこうと決意して、「京都水問題を考える連絡会」として、1997年発足しました。

主な活動は、講演会、勉強会を通じて、広く水の大切さを伝える（同時に、水を単に元凶である合成洗剤の撤廃だけでなく、普及を呼びかけるとして、排水を減らす）など、幅広く活動をしてきたものと聞いています。

また、京都市とは遠くからパートナーシップにより、さまざまな取組が行われてきました。対等な立場で「暮らしを守る」という視点から発言しています。市民・消費者としての「消費者センター」の充実を求める請願、88年請願、探訪も同じく、消費者まつりへの参加もしています。

Q 小学校給食用の合成洗剤を石けんに切り替える運動をされたきっかけは？

A 京都市は琵琶湖、淀川水系の中央部に位置しています。淀川から飲み水を取水している地域の人々を考えると、琵琶湖から取水した水質に近況を改善させる必要がなくてはなりません。そこで慎重に合成洗剤を使用している学校給食用の食器洗浄に注目しました。学校給食から合成洗剤を撤廃し、石けんの使用を求める請願を、89年12月88団体と共に市議会へ提出し、89年1月に採択されました。こうして、請願後の調査をするための知識はなく、文章づくり、請願書の文書整理、教育委員会、学校給食課への採択要請

の説明、市民への協力、理解に向けたシロシロの開催、署名活動（2万署名）と、学校給食委員組合との懇談等々、出来事続きのことが実行しました。子どもたちの健康を守るの一点で多くの力を寄せ合いました。採択後、実際に学校の現場見学に行きました。これも向かい合っていることは第一歩だと思いましたが、全市の小学校で石けんの洗浄がわかっていない。すでに10年以上経過しましたが、それだけの市民が認知できてい

Q 廃食用油の回収の経緯をお話しいただけますか？

A 下塩環境の廃棄で、自治会から捨てられる大がかりの油が回収されたことと、スーパー、公設市場の店頭で地域での廃食用油の回収推進しました。なにも89年9月東山2条ササコでは、京大と市民が協力して回収しました。17年経ちました。その活動は、89年4月環境院・川東・新築学区の方へ引き継がれました。その後、京都市へ行政と市民との連携による計画ですが、質問書を出された後、懇談会で「国産の油に代わって新聞紙に吸われたり、市販の調理で固まるなど、回収が困難で責任を持つことが本来の姿」と言われた。そして、廃食用油回収について、市販の油に白さがあれば、当会の回収口を伝えてくれたのですが、私たはもともと回収していません。

Q 廃食用油を利用する石けんの手作りの普及に努めたことと聞きましたか？

A ほとんど廃棄する油です。フリン状の石けんを作りました。次は主役は固形石けんです。保育園、幼稚園、小学校、中学校、大学、地域と手分けして講習を開き、作りの普及を促しました。また、財団法人財団の助成金も石けん製法のプランを購入、多量に作ることも出来るようになったので、市内の町村へ広がりました。作業所の作った石けんが、レスパンドの道路に引き運ばれていくケースも

あり、石けんを通じ健康への関心が高まればうれし限りです。

Q 洗剤の市場である百貨店・大手スーパーにも働きかけられましたか？

A まずは最初の手がけは、お中元・お歳暮の贈答品に石けんを取り入れてもらいました。89年、2つの百貨店、4つのスーパーに申し入れしています。その後、話合いの上、お中元・お歳暮、お返しにいただいた「合成洗剤」を、配達した百貨店（大丸、高島屋、近鉄）を通じて、「石けん」と交換できる事になったと定めます。毎年、6月のお中元、12月のお歳暮に、各百貨店に申し入れしています。

Q 水質調査もかなり実施されているのでは？

A この会の活動の中には、研究者も会員として参加されているので、水質調査、水質についての勉強会が比較的古くから行ってきました。また、大原神戸へ行った「琵琶湖淀川調査団」への参加、「水道水中のトリハロメタン調査」、「界隈活性剤の濃度測定」「京都地下水管調査」を行いました。また、石けんまつり（91年京都府特別館に開催）では、中学生を中心に、京都を流れる川の水の水質調査をして市民へアピールしたことも、記憶に鮮やかです。

京都水問題を考える連絡会

事務局所在地
〒607-8452
京都市山科区野手美矢町6
石田方
代表 橋田 助
事務局長 石田紀郎
☎075-581-0932
FAX: 075-724-8012

トイレットペーパーの利用状況調査

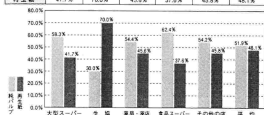
～めぐるくん推進友の会の調査より～

ごみゼロを目標に再生品の利用を訴え続ける「めぐるくん推進友の会」は、一般市場でのトイレットペーパーの動きを調査した。アンケート形式で再生紙の使用について、また紙類の回収について質問し、再生紙利用促進啓発を行った。また、昨年11月その調査結果を「トイレットペーパーの利用状況調査」という冊子にまとめた。この欄ではその調査からトイレットペーパー調査を掲載。

1. トイレットペーパー店頭調査

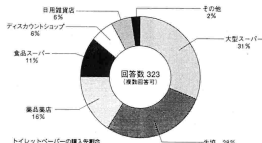
- ※ 1. 調査店舗で「その他の店」欄はデパート・コンビニ・日用雑貨店等です。
2. ここでの「再生紙」は、純/0%以外の全ての再生紙を指します。

調査店舗	大型スーパー	生協	薬局・薬店	食品スーパー	その他の店	平均
純/0%	50.3%	30.0%	54.4%	52.4%	54.2%	51.9%
再生紙	61.7%	70.0%	45.6%	37.6%	45.8%	48.1%



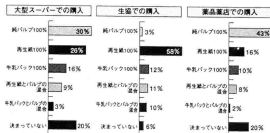
2. トイレットペーパーの購入先

トイレットペーパーの購入先を複数回答で尋ねたところ、「大型スーパー」「生協」「食品スーパー」の順に割合が高く、上位3店で75%を占めています。回答数323 (複数回答可)



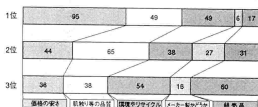
3. 購入先別トイレットペーパーの種類

上位3店のトイレットペーパーの購入者にその種類を複数回答で尋ねたところ、大型スーパー、食品スーパーでは「純/0%100%」、「決まっていない」の割合が高いものの、いずれの店でも「再生紙100%」の占める割合が高くなっています。



4. トイレットペーパーの購入の目安

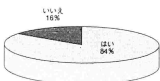
トイレットペーパーの購入目安を順位付けして尋ねたところ、1位の中で最も高い割合を示したのが「価格の安さ」で、次いで「肌触り等の品質」「環境やリサイクル」が同数でした。また、2位の中では「肌触り等の品質」が最も高く、3位の中では「環境やリサイクル」が最も高い割合でした。1～3位のいずれにおいても「環境やリサイクル」の占める割合は高くなっています。



5. 再生紙や牛乳パック利用のトイレットペーパーの特売

再生紙や牛乳パック利用のトイレットペーパーの特売があれば購入するかと尋ねたところ、8割以上が「購入する」との回答がありました。

再生紙や牛乳パック利用のトイレットペーパーの特売があれば購入しますか?



——調査概要——

- ◆調査期間/1999年8月20日から9月10日
- ◆調査店数/229店舗 ◆調査員数/104名 ◆調査票数/233件

あなたのご意見をお寄せください

このページは、ごみに関する自由な発言コーナーです。どなたでもどんなご意見でも歓迎します。京都市ごみ減量推進会議までお手紙をどうぞ。

〒604-8571 京都市中京区寺町御池
京都市環境局事業部
リサイクル推進課内

☎ 075-222-4091
☎ 075-213-0453

京都市ごみ減量推進会議 会報「ごみを減らすう」NO. 12
2000年(平成12年)3月発行
編集発行 京都市ごみ減量推進会議

エコペーパー100(新聞紙100%再生紙、白密度80)を用い、大豆インクで印刷しています。